

2) ITを活用した授業の改善策の検討

教材以外での改善案(カリキュラム、準備、運営など)

北海道医療大学

- カリキュラムの変更(時間割の確保)
- 学生数の増加に対する対応
- 教材の増加に伴い、授業時間の確保が難しくなっている。
- 教材を同時に利用できる学生数に制限が有るため、授業形態の工夫が必要。

岩手医科大学

教務課の方にご協力いただき、円滑にすすめられている。

昭和大学

1. WiFi環境の整備
2. カリキュラムの上手な運用をしないと、ITスキルの高い学生が、早く終了する(邪魔する)。
3. カリキュラム自体にPCが必要なことを記す。
4. プレ・ポストテストで出題・選択肢順序を変える。
5. ITが活用できていない。(PCスペックの差)
6. 事前アナウンスは徹底する。→臨床実習はさらに細やかな対応が必要

Step1 の教材改良

- 医療費など最新統計データを随時アップデートする必要がある。(WG3)
- 統計によって更新される時期が違うが、教材をアップデートするタイミングをどうするか要検討である。(年度初めでよいのか?)(WG3)

Step2 の教材改良

- 誤字の修正(WG2)
- VPに関して 対話履歴に基づいて改良できることは改良する(WG2)
- VPの回答回路に限界がある。(WG3)
- VPの対話記録をみると、一般的な医療面接の順序から少しでも逸脱して 質問をしてしまうとVPから回答が滞ってしまい、VPシステムを活かせない状況となっている。
→学生の不満も多く生じていることから、診療情報提供書の穴埋め課題を分割するなど、質問順序をあらかじめ決めた教材に改良する必要がある。(WG3)